単 元 名	Unit 5　　ハンバーガーショップで	配当時間	4～7時間
単元の目標	(1) ハンバーガーショップでのロールプレイに積極的に参加しようとする。 (2) ｏハンバーガーショップで注文したり，数を尋ねたり，「～しなさい」と指示をしたりできる。 ｏ名詞の複数形やHow many で始まる疑問文，命令文を用いて身近なことを表現できる。 (3) ハンバーガーショップにおける，マークとデミの対話の内容を理解することができる。 (4) 名詞の複数形，How manyで始まる疑問文，命令文の用法を理解することができる。		

☆本単元では，名詞の複数形，How manyで始まる疑問文，及び命令文の用法を理解させ，運用できるようにさせたい。また，ハンバーガーショップでのロールプレイを通して，英語を使うことの楽しさを味わわせたい。

①★**Part 1(1)** 名詞の複数形について知り，練習する。また，ハンバーガーショップでのデミと店員の会話の内容を知る。 ハンバーガーショップでの会話に挑戦しよう。 ②★**Part 1(2)** ハンバーガーショップでのロールプレイをする。 評ハンバーガーショップでの注文のやり取りができる。 （発表，観察） ③★**Part 2** How manyで始まる疑問文の用法を知り，練習する。また，テレビとマンガ本についての健とデミの会話の内容を知る。 相手の言ったものの数を聞き返して確かめよう。 評How manyで始まる疑問文を使って，数を尋ねることができる。 （発表，観察） ④★**Part 3(1)** 命令文の用法を理解し，練習する。また，健の提案やデミの申し出を理解する。 相手に「～しよう」と提案しよう。 評命令文の用法を理解し，相手に提案や指示ができる。 （発表，観察） ⑤ **Part 3(2)** 相手に提案・申し出・指示等をするコミュニケーション活動に取り組む。 ⑥ **単元のまとめ(1)** How manyを用いたコミュニケーション活動に取り組む。 ⑦ **単元のまとめ(2)** 学習事項をまとめ，単元テストに取り組む。	①・ＪＴＥとのモデル・ダイアログ ・複数形を用いて身近なものを表現 ・ロールプレイにおける生徒の相手 ②・店員または客役での生徒のロールプレイの相手 ・生徒同士のロールプレイの発表における評価とアドバイス ③・ＪＴＥとのモデル・ダイアログによるHow manyで始まる疑問文の導入 ・How manyで始まる疑問文の練習（早口で複数のものを表す英語を言い，生徒に聞き返させる。） ④・ＪＴＥとのモデル・ダイアログによる命令文の導入 ・提案・申し出・指示のそれぞれのケースの，例文の提示 ・Simon saysの命令役 ⑤・コミュニケーション活動での，ＪＴＥとのモデル・ダイアログ及び活動への参加 ⑥・How manyを用いたコミュニケーション活動での，ＪＴＥとのモデル・ダイアログ及び活動への参加

ｏ①の複数形の指導においては，その形を強調するあまり不自然な発音とならないように注意する。

ｏ①②の，ハンバーガーショップでのロールプレイでは，ハンバーガー，ジュース等の商品やお金，メニューを生徒に考えさせたり，実際に作らせたりして活動を活発にするとよい。

ｏ②の，相手の言ったことがつかめなくて聞き返す活動は，会話におけるストラテジーとしても有効なので，随時取り入れて練習させておくとよい。

ｏ③では，Hello, Englishの教室英語を学習する際に命令文はたくさん聞いているため，ここで改めて文字からその形を復習し，ただ指示を与えるだけでなく，申し出という働きもあることを知らせる。